

## 目的とねらい

京都には街の各地にたくさんのギャラリーがあり、週毎に小さな展覧会が開催されています。国際的に活躍する大作家だけでなく、美術の世界に挑戦し始めたばかりの新進作家から、趣味の創作など、私たちはさまざまな作者と作品の表現世界を鑑賞することができます。そこで今年の「美術鑑賞講座」は同時代で進行する現代美術事情について、身近なギャラリーを訪ね歩き、座学の講義を交えながら楽しみたいと思います。

## 会場

①③⑤⑦は河原町学舎 ②④⑥は現地集合（集合場所は別途案内）

## 定員

20名

## 受講料

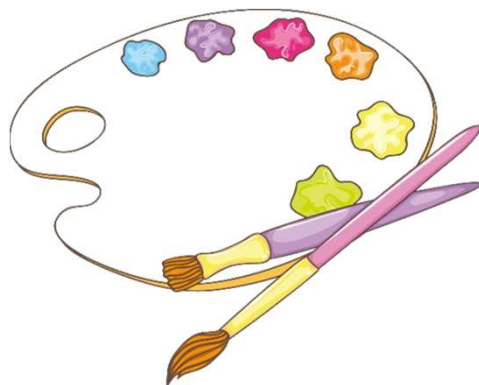
10,000円

## 責任講師

真鍋 宗平（造形作家・デザイナー）

## 日程

全7回 第2水曜日  
13:30～15:30 雨天も実施



（日程等は一部変更になる場合があります）

①	河原町学舎での講義 「サロン型美術文化について・・・ギュスターブ・クールベからはじまった」	4/13（水）
②	ギャラリー見て歩き「河原町～祇園界限へ」 集合場所 河原町学舎 主な訪問先 府立文芸会館、アートスペースCo-Jin、ギャラリーマロニエなど	5/11（水）
③	河原町学舎での講義 「岡崎文化ゾーンの形成と京都の町衆文化の特徴」	6/8（水）
④	ギャラリー見て歩き「丸太町通～岡崎界限へ」 集合場所 京都御所堺町御門前 主な訪問先 ギャラリー「洛」、ギャラリー「恵風」、ギャラリー「16」など	7/13（水）
⑤	河原町学舎での講義 「街の賑わいを支えている小ギャラリー群と次世代の美術家たち」	9/14（水）
⑥	ギャラリー見て歩き「寺町～三条通りを巡る」 集合場所 御池地下街市役所前広場 主な訪問先 ギャラリー「ヒルゲート」、「同時代ギャラリー」、京都府立博物館等	10/12（水）
⑦	河原町学舎での講義 「小さなギャラリーから見えてくる同時代の風景」	11/9（水）